



屋外用ガーデンライト (スパイク式・防雨型)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり、重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ : この器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ : 工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	光源ユニット	使用電圧
AD-2377	WW-1103L	AC100V(±6%)
品番	適合ランプ	使用電圧
AF-2378	E17電球型蛍光ランプD10形(電球色)	AC100V(±6%)
AE-2379	E11ハロゲンランプ25W ダイクロイックミラー付(K3) (別売)	

この取扱説明書のマークについて

- △警告 説明書中の警告は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
△注意 説明書中の注意は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
●このマークについている説明文は、必ず守ってください。
○このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

スパイク式

- スパイクは土壌のしっかりした所へ設置してください。
- 砂地などの柔らかい場所に設置する場合は、コンクリート等でスパイクの埋め込み部分を補強してください。
- GLシールラインまで埋め込んでしっかり固定してください。

警告

- 傷んだコード(被覆の傷や芯線の露出など)はそのまま使用せず、ただちに電気店に交換をご依頼ください。
★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因になります。
- 一般屋外用器具(防雨型)です。
振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接(塩害地域)では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
- 次のような場所には取り付けないでください。
●地中差し込み以外の場所 ●地盤の弱い場所 ●雨水等が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因になります。
●浴室などの湿気の多い場所への使用。 ●サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因になります。
- 設置の際は垂直以外の方向に取り付けしないでください。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。また器具の転倒や破損、焼損の原因となります。
- 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。
- ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。
- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
- 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

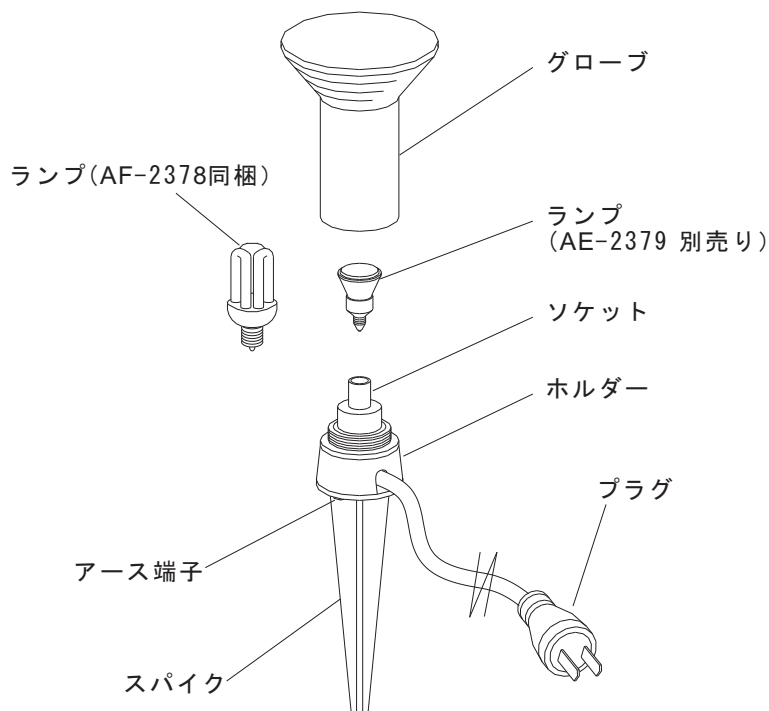
注意

- AC100V専用です。必ずAC100V(定格電圧±6%)の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100V)以外で使用した場合、光源ユニット定格寿命(40000h以上)が短くなる可能性があります。
- この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、ランプや光源ユニット寿命短縮の原因になります。
- AD-2377、AF-2378は調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。
- 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱による器具の故障や破損の原因になります。
- ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因になります。
- 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略、抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】



電球型蛍光灯D10形 (電球色)
..... 1本

※AD-2377は光源ユニット内蔵です。
※AE-2379はランプ別売りです。



取扱説明書 (本書)
..... 1枚



保障とアフターサービスに
ついて
..... 1枚

【AF-2378・AE-2379】 ※AD-2377はグローブをはずさないでください。

取り付け場所の確認

警告 一般屋外用器具 (防雨型) です。
振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接 (塩害地域) では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

注意 土壌のしっかりした所へ取り付けてください。砂利などの土質の柔らかい場所へ埋め込む場合は、
コンクリートなどでスパイク部分を固定してください。

取り付け方

注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因になります。

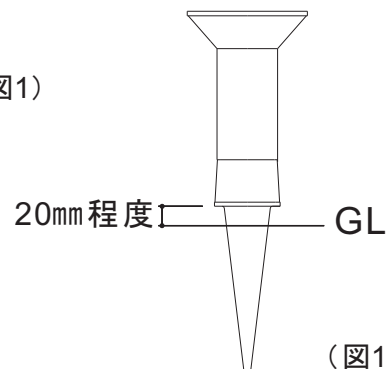
1. スパイクを取り付けます。

① D種接地工事 (アース工事) を施してください。接地工事 (アース工事) は、電気設備
技術基準に従って確実に行ってください。

② GL表示シールのラインまでしっかり埋め込んでください。 (図1)

警告 しっかりと埋め込まれたかを確認してください。
★埋め込みが不十分な場合、器具の転倒による破損、
焼失の原因となります。

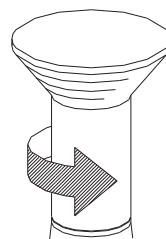
GL表示シールより上まで埋め込まないでください。
★埋め込みすぎた場合、器具の機能を損ない、
故障の原因となります。



(図1)

2. グローブを取り外します。(図2)

※AD-2377はランプのセットは必要ありません。そのまま5.へお進みください。

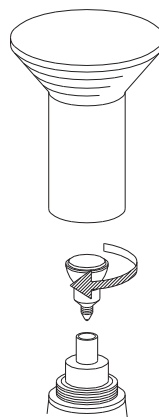


(図2)

3. ランプをセットします。

ランプをソケットに合わせて、ねじ込みます。(図3)

⚠注意 **⊘** ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

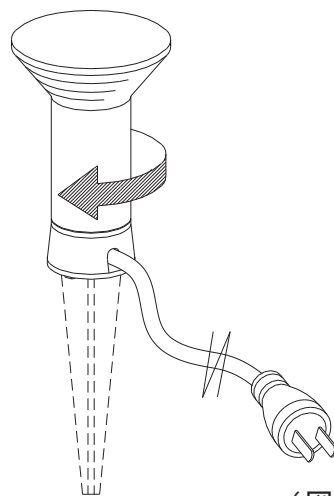


(図3)

4. グローブをセットします。

ホルダーにグローブをねじ込みます。(図4) 異物混入を防ぐため、グローブやホルダーのゴミ、砂などを完全に除去してください。

⚠警告 **!** ホルダーとグローブの間に異物が挟まると密着が悪くなり、防水性が損なわれ、感電事故や漏電事故の原因となります。



(図4)

5. コンセントにプラグを差し込んでください。

● スイッチ操作

● プラグの抜き差しによってON-OFF操作を行います。

⚠警告 **!** プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
★コードを引っ張るとコードを傷めて、感電事故やショートによる火災の原因になります。

! プラグは防水仕様になっていません。軒下、屋内などプラグに直接、雨のかからないコンセントから電源をとってください。
★感電事故となります。

! 長時間使用しない場合やメンテナンス時はコンセントを抜いてください。

⊘ コードは人の通る場所では、露出しないようにしてください。
★コードを引っ掛け、ケガ、コードの切断の原因となります。

● お手入れについて

⚠注意

❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

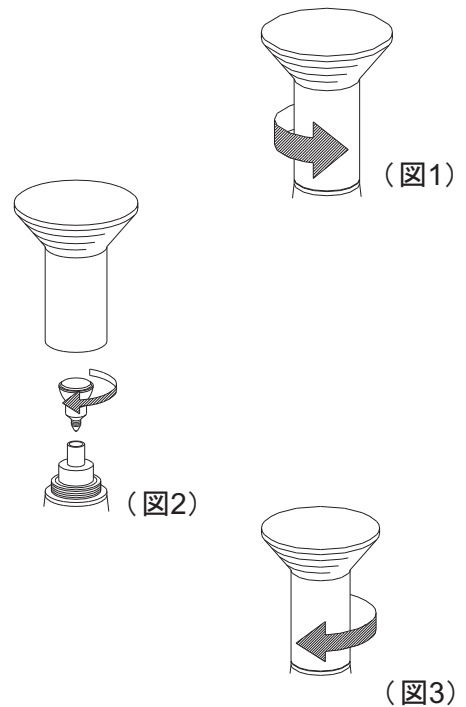
- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

- ❗●ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因になります。
- 🚫●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。
★火傷の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。
- 🚫●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。
- 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱による火災の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■ランプの交換 【AF-2378, AE-2379】

1. プラグをコンセントから抜きます。
2. ホルダーからグローブをはずします。(図1)
3. ランプを交換します。(図2)
・必ず適合ランプをご使用ください。
4. グローブをセットします。(図3)



※取り付け方4.を参照ください。

■ユニットの交換 【AD-2377】

⚠注意 ❗ AD-2377は、構造上、お客様が光源ユニットを交換することができません。メンテナンスの際は、別紙のサービス窓口までご相談ください。

■お手入れのしかたについて

- ・電源を切ります。
- ・柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
- ・汚れを落とした後、洗剤分をよく拭き取ります。
- ・最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら、ただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明のサービス受付窓口にご相談ください。